

## 一社) 麒麟のまち観光局

## 令和 5 年度事業の進捗状況及び令和 6 年度の事業計画・予算 (案) について

## 1 令和 5 年度事業の進捗状況について

## ①公益事業負担金事業 (当初予算分)

事業名	事業費	実施状況
周遊促進事業	5,000 千円	圏域の課題である「初来訪者の獲得」、「若年層への訴求」の解決に向け、SNS (Instagram, TikTok) を活用し、関西圏の若年層等に対する動画等を配信 (年 36 投稿 (月 3 回)) →実施状況 ①Instagram ■ 4-9 月に 22 投稿実施 ■ ストーリーズ (短時間投稿機能) に 4 投稿実施 ②TikTok 4-9 月に 18 投稿実施
流通整備事業	2,640 千円	①3DMO 連携による山陰海岸ジオパークを活用した周遊ルートの造成及び海外旅行会社を通じた販売環境の整備 ②ローカル鉄道 (若桜鉄道、智頭急行) を活用した周遊ルートの造成及び海外旅行会社を通じた販売環境の整備 →実施状況 ■ 台湾、香港、シンガポールの旅行会社、大阪のランドオペレーターが旅行商品を造成・販売するためのコンテンツ、周遊ルートの選定、海外旅行会社現地視察ツアーの開催 (11 月、2 月) を準備中 (①②共通) ■ JR 乗車券と観光コンテンツのセット商品 (関西ワイドエリアパス) の販売 (①②共通) ※鳥取市内 9 メニュー開発 ■ 沿線関係者会議、ガイド研修の実施 (②) ■ ローカル鉄道専用サイトの制作 (②)
マーケティング事業	2,000 千円	圏域を訪れる旅行者を対象とする WEB アンケート調査の実施 (調査項目: 属性、消費額、情報源、満足度等) →件数: 1,595 件 (9 月末) ※令和 3 年度からの継続
計	9,640 千円	鳥取市: 6,260 千円 6 町: 3,380 千円 (町@564 千円)

## ②麒麟のまち観光 DX プラットフォーム構築事業 (6 月補正分)

宿泊施設等と連携した宿泊データ分析システム及び観光 CRM (顧客管理システム) を構築し、マーケティング分析の強化による再来訪率の向上を図るとともに、データ分析を観光戦略、販売促進に活用し、観光消費の拡大につなげる。

事業名	事業費	内訳
麒麟のまち観光 DX プラットフォーム構築事業	43,140 千円	国補助金: 15,620 千円 市町負担: 21,000 千円 鳥取市: 16,800 千円 6 町: 4,200 千円 (1 町@700 千円) DMO 負担: 6,520 千円 (宿泊データ分析システム分 3,620 千円 + 外部委託等 2,900 千円) 予算要求時から DMO 負担分が増加

## ■ 宿泊データ分析システム

JTB のデータ分析システムを活用し、宿泊施設保有の宿泊者データを JTB システムに集積した上で、どのような観光客が訪れているかなど、属性等を把握・分析する。

実証的に新温泉町、鳥取市を対象に実施予定。

### 実施状況

施設側のデータ保有環境に左右され、J T B システムへの入力作業を要するなど、施設側の対応も求められるため、協力事業者が限定的となる可能性もあるが、現在、各宿泊施設に協力を依頼中。

## ■ 観光 CRM システム

リクルートのウェブツールを活用し、圏域を訪れる観光客を会員として募集しファンづくりを進めるとともに、圏域の店舗に参画いただき、会員向けに店舗で使えるクーポン付きのキャンペーンを行いながら、会員データを取得し分析を行う。

### 実施状況

・事業名：「発見！このへん共和国～鳥取・兵庫 麒麟のまち～」

コンセプト：麒麟のまちをあなたの心の故郷へ

・圏域全体で 9/末現在、126 店舗が参画

・10/23 から SNS 広告等により会員募集を開始。店舗で使用可能な 1,000 円クーポンを振り出し。

クーポン利用キャンペーンは 11/1～翌年 3/31 まで実施

会員には最旬情報や限定クーポン、その他割引特典などお得な情報をメルマガ等でタイムリーに発信



## 2 令和6年度の事業計画・予算（案）について

### ①事務局運営体制について

- 現状：専務、事務局次長、係長の3名に、8月から臨時職員1名（町OB）を加えた4名体制

氏名		年収	負担割合		備考
			DMO	他団体	
専務理事	常勤理事	6,000千円	○		旅行業務取扱責任者資格者
事務局次長	出 向	4,500千円	○	○	金融機関から出向（費用は折半）
係 長	正 職 員	4,500千円	○		プロパー職員
臨時職員	臨 時	2,600千円	○		町OB

- 課題：事務局長不在に伴う国補助金等の財源確保や付随する事務手続きの円滑化、さらには観光DXや2025大阪・関西万博を見据えたインバウンド誘客など、業務領域の拡大等を踏まえた事務局長および新たな職員、将来を見据えた専務理事の後任人材の確保

- 対応：1市6町が連携し、新たな職員の確保に要する経費を令和6年度予算により措置。

⇒専務、事務局次長、係長に加え、新たに行政からの出向派遣1名、民間企業、地元人材の採用2名 最大3名の採用を目指す（全6名体制）・・・**運営負担金 10,000千円増**

※行政からの出向については、鳥取市へ要望・協議中。

※新たな採用者には総合旅行業務取扱責任者の資格取得者1名を含む。

#### <参考1 近隣の地域連携DMOの事務局体制>

名称（一般社団法人）	マネジメントエリア	事務局体制
鳥取中部観光推進機構	県中部・岡山県蒜山地域 （倉吉市、湯梨浜町、三朝町、北栄町、琴浦町、真庭市）	プロパー6 パート2 <b>計8名</b> ※行政、民間企業からの出向はなし
豊岡観光イノベーション	豊岡市、京丹後市	プロパー5、市出向 4、企業出向 2、CIR2（JETプログラム） <b>計13名</b>
中海・宍道湖・大山圏域観光局	米子市、境港市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町 松江市、出雲市、安来市	プロパー1 市出向 2、企業出向 5 <b>計8名</b>

#### <参考2 DMOのこれまでの取組・成果と今後求められる役割>

時期	主な取組・成果と今後求められる役割
平成30年度・令和元年度	○ブランディング
令和2年度	○観光販売戦略の策定 ○アソビュー販売コンテンツ整備
令和3年度	○市観光ホームページのリニューアル・6町観光情報データ整備 ○アソビュー販促キャンペーンの実施 ○麒麟のまちウェブアンケートの開始（～以後継続）
令和4年度	○市観光ホームページに6町情報掲載、Googleビジネスプロフィールを活用したHPへの飲食店等の店舗登録 ○Instagram写真投稿キャンペーン、アソビュー販促キャンペーンの実施 ○3DMO連携による山陰海岸ジオパークを活用した広域周遊ルートの販売
令和5年度	○SNS（TikTok、Instagram）を活用した情報発信 ○山陰海岸ジオパーク、ローカル鉄道を活用したインバウンド向け旅行商品の販売環境整備 ○観光DXの導入
令和6年度以降	○2025大阪・関西万博（令和7年4月～10月）を見据えたインバウンド向けコンテンツの磨き上げ、情報発信、販促プロモーション、受入環境づくり ○観光DXの本格展開（会員募集、クーポンキャンペーン、データ分析など） ○市町の観光協会とDMOとの業務連携の深化

②令和6年度事業計画・予算

予算費目	事業名	事業費	内 容
運 営 負 担 金		39,500 千円	鳥取市:33,500 千円 6 町: 6,000 千円(町@1,000 千円)
公益事業 負 担 金	観光 DX 推進事業 (継続)	17,500 千円	観光 CRM システムを利用したクーポン付きキャンペーンの継続による更なる会員拡大と参画店舗の拡大、SNS 等による情報発信、会員データの取得・分析
	マーケティング事業 (継続)	1,500 千円	圏域旅行者対象のウェブアンケート調査の継続及び分析とフィードバック
	流通整備事業 (継続)	5,640 千円	令和5年度に造成した3DMO連携による山陰海岸ジオパーク及びローカル鉄道関連の広域旅行商品の磨き上げと販売のための流通環境整備 ①早朝、夜のコンテンツ、トレイルなど新たな体験商品を開発し、2泊以上の滞在を促進 ②令和5年度に造成した旅行商品のストーリーづくりなど、売れる商品へのブラッシュアップ ③JTRWeb※を活用した販促プロモーション活動  ※JTRWeb 香港に拠点を持つ旅行会社 JTRweb Limited が、日本で観光体験サービスを提供する事業者、観光施設・飲食店の商品電子チケットを連携する海外旅行会社(約800社)で一斉に販売するシステム。 外国人旅行者の販路開拓、誘客に有効なツールの一つ。 ※2022年 JR西日本と業務提携契約締結
	小 計	24,640 千円	鳥取市:18,262 千円 6 町: 6,378 千円(町@1.063 千円)
合 計		64,140 千円	鳥取市:51,762 千円 6 町:12,378 千円(町@2,063 千円)